

事業所名	グループホームのどか (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成18年12月15日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 医療施設管理者 資格・経験 特別養護老人ホーム生活相談員、臨床工学技士 B:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、J-MHLA-2級、介護支援専門員
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

調評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<p>周囲に、大きな栗の木や柿の木等がある高台にあり、季節感を視覚や皮膚感覚で実感できる環境にある。</p> <p>特に「のどか」は、入居者が日常集まる場所から南側に位置する津山市街を見渡すことができ、開放感を感じる生活空間がある。</p> <p>グループホームに於いて特に重要なことは、入居者一人ひとりの人生観、生活観、精神的価値観等が尊重され、入居者中心の介護を行うことが重要であると思うが、「のどか」も精神的・肉体的に拘束、束縛されることなく、「その人らしく自由に共同生活している」ことを感じることができる。</p> <p>認知症ケアの質の向上と維持に関心が高く、介護技術の維持と向上に注意して管理運営をしている。</p> <p>「みとり介護」を行うことは、入居者の家族との連携や地域医療機関との連携など、施設にとって多くの負担や課題を発生させるため難しい課題であるが、みとり介護を実施した経験と体制は施設の介護内容と管理の高さを示すと思う。</p>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
特になし

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>入居者一人ひとりの生活要求を大切にして、精神的・肉体的に開放された生活空間と職員や入居者同士の人間関係の絆を大切にして、その人らしく生活できる共同生活空間を目指している。</p> <p>入居者が肉体的・精神的障害や抑圧を感じることもない、「安全と安心」が保証された施設であること。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>入居者の個性が共同生活の中で失われることなく、その人らしく生活できるように、入居者の性格・価値観・生活履歴など、個人を尊重して個人情報を把握することで個別介護が出来るように努力している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人であることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>個人のファイルや記録は戸棚にきちんと整理して個人情報を管理されている。</p> <p>介護会議記録・日誌などから入居者の人生経験を尊重し、個人の現在の能力を引き出すような取り組みをしている。</p> <p>個々の人格や性格、価値観や心身の状況などを勘案しながら日常生活をスムーズに行えるように支援しており、一人ひとりを大切にされた姿勢がうかがえる。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>管理者を中心として入居者本位の介護サービスを行うために、入居者の日頃の状況把握・介護情報の共有・研修など、入居者が安心して安全な生活環境で生活できるようにしている。</p> <p>問題発生の防止と予防を心がけながら、事故報告書・苦情処理記録なども整理している。</p>		